

弊社のWindows版(デバイスドライバ用)DLL(ダミツツツツツツツ)を

## Borland C++Builder でご使用になる場合のご利用方法

### 1. 概要

弊社のボード制御用「デバイスドライバ用DLL」及びライブラリDLLは、Microsoft Visual C++ を使用して作成しています。

このDLLを「Borland C++Builder 5」で作成するアプリケーションにリンクする場合の利用方法を記載します。

### 2. ライブラリ用ファイル

ライブラリを構成するファイルとそのファイルの位置づけは次の通りです。

#### (1) ライブラリ本体

ファイル拡張子 [DLL] がライブラリ本体となります。

このファイルは、Windows の所定のフォルダに格納します。

#### (2) ライブラリ結合用ヘッダーファイル

アプリケーションプログラム中に“#include”でソース結合されます。

このヘッダーファイル中に記載される内容には次の要素が含まれます。

DLLに含まれる関数のプロトタイプ宣言

上記関数が使用する構造体等の定義

(注)ライブラリ関数は“C形式(extern “C” )”で作成されています。

ヘッダーファイル中でこの記載が行われています。

```
#ifdef _cplusplus
extern "C"
{
#endif
    全DLL関数のプロトタイプ宣言
#ifdef _cplusplus
}
#endif
```

この部分の変更を行って下さい。(ifdef, endif を削除)

#### (3) インポートライブラリファイル

リンク用ファイル(拡張子lib)です。

このファイルは Visual C/C++; 用ですから、次の手順でインポートライブラリを作成して、リンクして下さい。

a. コマンドラインユーティリティ“implib.exe”を使用

b. 「implib HVT\_LIB.LIB HVT\_LIB.DLL」

HVT\_LIB.DLL ... DLLファイル

HVT\_LIB.LIB ... 作成するインポートライブラリファイル

その他、DLLのリンク、implib.exeの詳細は、ボーランド社のHP、資料等を参照願います。

以上

Windows, Microsoft Visual C++は Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

Borland, C++Builder は Borland Software Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。